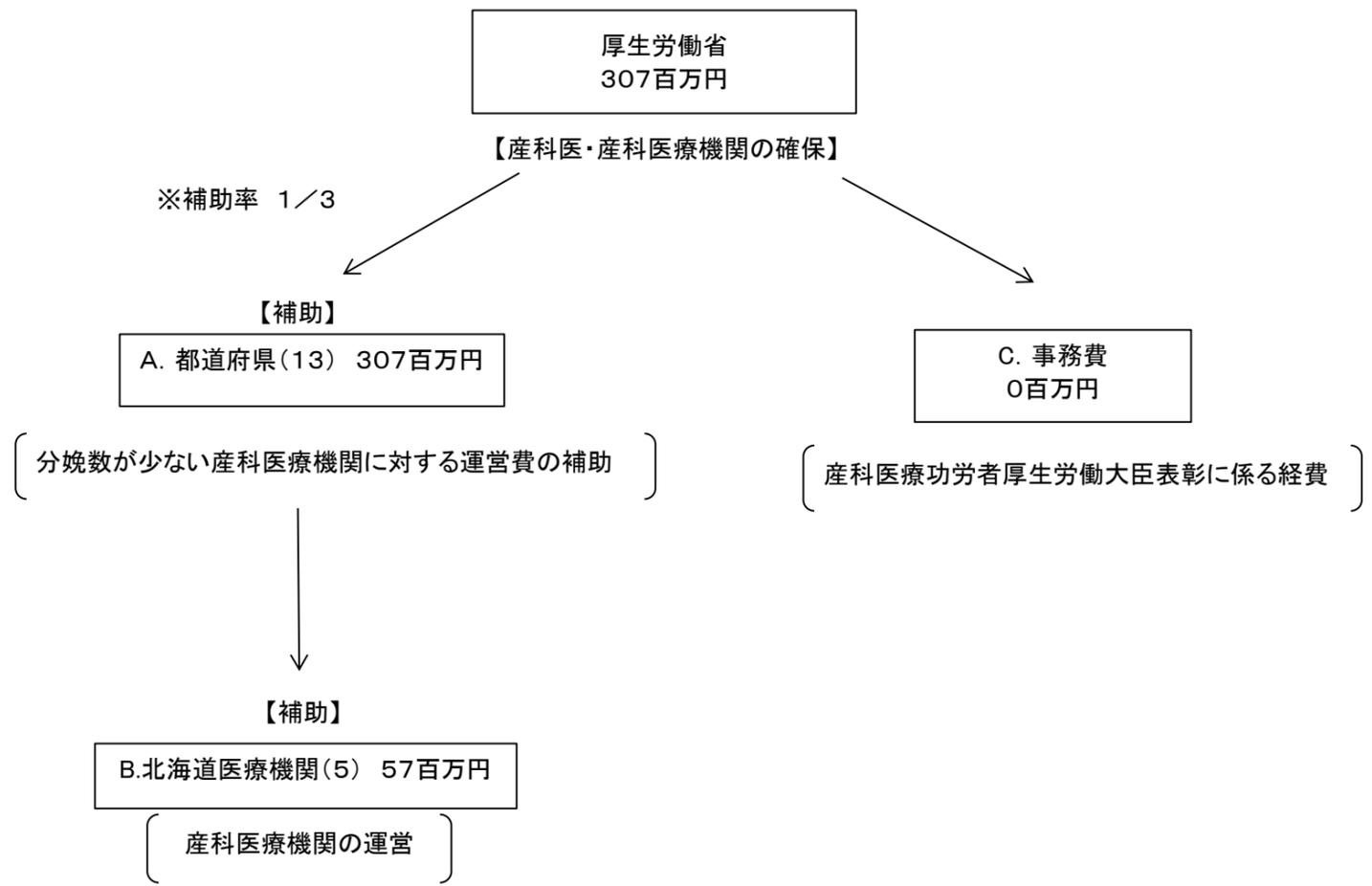


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	産科医・産科医療機関の確保		担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:田中 剛		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	産科医療確保事業実施要綱				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩を行う医療機関が逡減している現状を踏まえて、病院の集約化が困難な地域において、分娩可能な産科医療機関を確保する観点から、一医療機関当たりの分娩件数が少ない産科医療機関に対して、経営の安定化を図るための財政支援を行う。 ・長年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた産科医等に対して厚生労働大臣表彰を行い、功績をたたえ、功労に報いる。 							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・産科医療機関確保事業 一医療機関当たりの分娩件数が少ない産科医療機関に勤務する医療従事者の人件費に対する財政支援。 ・産科医療推進費 地域の産科医療の推進に貢献してきた産科医に対する厚生労働大臣表彰。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	325	325	325	325	325	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	325	325	325	325	325	
		執行額	318	317	307			
	執行率(%)	97.8%	97.5%	94.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	妊産婦死亡率(出産10万対) (厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態調査」)		成果実績	人	4.1	3.8	集計中	-
			達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	産科・産婦人科医数 (厚生労働省大臣官房統計情報部「医師・歯科医師・薬剤師調査」)		活動実績 (当初見込み)	人	10,652	-	集計中	-
					(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	29,760円/人		算出根拠	23年度執行額 / 産科・産婦人科医数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	323	323	-				
	庁費	2	2					
	計	325	325					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	一医療機関当たりの分娩数が少なく、経営的に厳しい医療機関がある中、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	産科医療機関を確保していくためにも、引き続き国の施策として進めていくべきものである。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	地域の産科医療機関の確保のための有効な達成手段として位置づけられており、優先度の高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者も応分の負担をしており、負担関係は妥当。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	必要最小限の補助基準額の設定を行っているため、水準は妥当。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	資金の流れの中間段階は都道府県への間接補助であるため、合理的。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	地域の実情に応じて医療機関等の補助先を選定しており、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	代替手段はない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点 検 結 果	産科・産婦人科医数は、平成12年から平成22年にかけて11,059人から10,652人に減少しており、分娩を取り扱う産科医が不足している現状から、地域のお産を支える産科医への補助は重要な課題であること。また、自然分娩については、診療報酬上の仕組みでは産科医への直接的な処遇改善に結びつかないことも踏まえ、引き続き財政支援を行う必要がある。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	産科医・産科医療機関の確保については、一医療機関当たりの分娩件数が少ない産科医療機関に対して、経営の安定化を図るために財政支援等を行う事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	30	平成23年	0028	平成24年	029

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.北海道			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	産科医療機関に対する補助	57			
計		57	計		0
B.八雲総合病院			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	医師、看護師等産科医療に係る人件費	11			
計		11	計		0
C.大和総合印刷(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品	平成24年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰状費用	0			
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	産科医療機関の運営に対する補助	57		
2	秋田県	産科医療機関の運営に対する補助	46		
3	島根県	産科医療機関の運営に対する補助	34		
4	沖縄県	産科医療機関の運営に対する補助	34		
5	兵庫県	産科医療機関の運営に対する補助	23		
6	高知県	産科医療機関の運営に対する補助	23		
7	鹿児島県	産科医療機関の運営に対する補助	23		
8	東京都	産科医療機関の運営に対する補助	22		
9	長野県	産科医療機関の運営に対する補助	11		
10	三重県	産科医療機関の運営に対する補助	11		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	八雲総合病院	産科医療機関の運営	11.4		
2	留萌市立病院	産科医療機関の運営	11.4		
3	市立稚内病院	産科医療機関の運営	11.4		
4	浦河赤十字病院	産科医療機関の運営	11.4		
5	富良野協会病院	産科医療機関の運営	11.4		
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	平成24年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰状印刷・揮毫	0	随意契約	